文書表記等について

本会研究大会「開催要項」「研究紀要」等の文書表記について、ある程度の基準が必要であると考え、次のように提示しますので参考として御活用ください。

なお、今後も改訂を重ねながら精査していく必要があり、全日中の基準に合わせ最小限の内容としました。次年度以降も、改訂を重ねていきます。

1 文書表記について

(1) 下記の全日中の基準をもとにする。

【全日中編集部で気を付けている表記（全日中編集部）より抜粋・編集】

<p>○平成二十九年十月二十二日（年度、年月日の表記には十を入れる） ○週二九コマ、第五九回（右記以外「十」は入れない） ○四、五三六人（「千」「百」「十」は入れない） ○七八億一、二〇〇万（七八一二〇〇〇〇〇〇〇では読みにくいので、「億」「万」を入れて読みやすく表記） ○五〇分授業（「十」ではなく「〇」と表記） ○人数には「人」を用いる（二〇人 一三五人） ○十数人・数十人（読みやすく表記） ○三〇〇人を超える（「三百」とはしない） ○一八学級（「十」ではなく「一」と表記） ○もつ……物を「持つ」こと以外はひらがな表記 ○一つ目、二つ目……は差別用語となるので他の言葉に替える ○障害のある・障がいのある……都道府県によって表記が異なるので、執筆者が作成したとおりで修正しない。 《※注》道中校長会会員は「障がい」とする。ただし、来賓等会員の方が作成した文書を掲載する場合は、執筆者作成のとおりとする。 ○単位は記号を用いる……キロメートル↓km トン↓t ヘクター↓ha ○小数点は真ん中に……七三・八% 一二・三kg ○学校名の記載は、県庁所在地と政令指定都市は都道府県名を省く 郡名は除く ○全日中教育ビジョン提言 10：提言の数字は、縦書きでも算用数字で表記 ○難解文字の読みは、（ ）内にひらがなで表記せず、ルビをふる 徳川家康 × 徳川家康（とくがわいえやす）</p>	<p>○平成二十九年十月二十二日（年度、年月日の表記には十を入れる） ○週二九コマ、第五九回（右記以外「十」は入れない） ○四、五三六人（「千」「百」「十」は入れない） ○七八億一、二〇〇万（七八一二〇〇〇〇〇〇〇では読みにくいので、「億」「万」を入れて読みやすく表記） ○五〇分授業（「十」ではなく「〇」と表記） ○人数には「人」を用いる（二〇人 一三五人） ○十数人・数十人（読みやすく表記） ○三〇〇人を超える（「三百」とはしない） ○一八学級（「十」ではなく「一」と表記） ○もつ……物を「持つ」こと以外はひらがな表記 ○一つ目、二つ目……は差別用語となるので他の言葉に替える ○障害のある・障がいのある……都道府県によって表記が異なるので、執筆者が作成したとおりで修正しない。 《※注》道中校長会会員は「障がい」とする。ただし、来賓等会員の方が作成した文書を掲載する場合は、執筆者作成のとおりとする。 ○単位は記号を用いる……キロメートル↓km トン↓t ヘクター↓ha ○小数点は真ん中に……七三・八% 一二・三kg ○学校名の記載は、県庁所在地と政令指定都市は都道府県名を省く 郡名は除く ○全日中教育ビジョン提言 10：提言の数字は、縦書きでも算用数字で表記 ○難解文字の読みは、（ ）内にひらがなで表記せず、ルビをふる 徳川家康 × 徳川家康（とくがわいえやす）</p>
--	--

	○表記	備考(用例、×表記 他)		○表記	備考(用例、×表記 他)
あ	挨拶 アイディア 挙げ句 あげる△ 挙げる 味わう 味わわせる あたり 当たり前 あふれる 併せて あわせて 合わせる いかんともし難い	(漢字表記) × アイデア ～した挙げ句 成果をあげる (ひらがな表記、道小：上げる、揚げる) 例を挙げる(漢字表記) × 味合う × 味わわせる 開会にあたり ～するにあたり(ひらがな表記)		致し方ない いたします△ ～していただく 今更 いろいろ うれしい おかげ 収める	(漢字表記) × 致します(道小：致す) (補助動詞、ひらがな表記) × 色々 × 嬉しい × お陰 成果を収める
		× 溢れる (副詞)併せてお願いする (接続詞) 問い合わせる(道小) × 如何ともし難い	か	抱える 係る 関わる 掛け替え 且つ△ 車いす 研さん 御理解・御支援 等	(漢字表記) × かかわる、係わる (漢字表記、道小：かつ) × 車椅子 × 研鑽 (御は漢字表記)

	○ 表 記	備考(用例、×表記 他)		○ 表 記	備考(用例、×表記 他)
さ	～すること	× ～する事 (「こと」はひらがな表記)	な	根ざす	× 根差す
	子供たち△	(漢字表記、たちはひらがな表記) (道小：子ども、子どもたち)		ねらい	× 狙い
た	この度	× このたび	は	のつとる	× 則る→(換)基づく、 従う、よる、即する
	先ほど	(先は漢字表記)		働き掛け	
	様々	(漢字表記)		話し相手、話し合う	
	更に、更なる	(副詞、漢字表記)		話し方、話し手	(道小：話し合い&話し合い)
	さらに、	(接続詞、ひらがな表記)		話し合い△、話好き	× 一人ひとり
	仕組み			一人一人	× 欲しい
	十分	× 充分		～してほしい	× ほめる
	素晴らしい		ま	褒める	
	全て	(漢字表記)		見いだす	× 見出す
	スマートフォン	× スマートホン		見付ける	× みつける・見つける (皆は漢字表記)
	たくましい	× 逞しい		皆さん	× 申し訳けなく
	ちょうど	× 丁度		申し訳なく	
	つづる	× 綴る		持ち出し、持ち込む	
	つなぐ、つながる	(ひらがな表記)	や	持ち込み	
	常に			優しい	× やさしい
	つらい	× 辛い		善い行い	(良いは漢字表記)
	提示	× 呈示		より良い	× 抛り所
	出来上がる		ら	よりどころ	
	できる	× 出来る	わ		
	手だて	× 手立て		分かる	× わかる
	～のとおり	(とおりはひらがな表記)		枠組み	
	～を通して	(通しては漢字表記)		私ども	× 私共
	とき	そのとき、 ～したとき × 時 (ひらがな表記)		Chromebook	(Cのみ大文字で半角)
	～とともに	× 止まる・留める		GIGA スクール	(大文字で半角+全角カタカナ)
	とどまる・とどめる	× とらえる(道小：とらえる)		LINE	(大文字で半角)
	捉える△	× 虜		SDGs	(大文字で半角、最後のsだけ小文字)
	とりこ	(名詞、漢字表記)		Society5.0	(Sのみ大文字で半角)
	取組	(動詞、送り仮名を入れる)			※参照
	取り組む				

注) 上記表中の△印の部分は、道小発行の用字用語例と異なる部分です。

(2) 文科省発行文書の表記をもとにする。

○ 表 記	備考(用例、×表記 他)
アクティブ・ラーニング カリキュラム・マネジメント コミュニティ・スクール 特別の教科 道徳 道徳、道徳教育、道徳科 総合的な学習の時間	「・」を入れる 「・」を入れる 「・」を入れる × コミュニティー・スクール × 特別な教科 道徳 × 総合の時間

2 項目番号について (■…スペース、■…半角スペース)

※縦書きの場合、5文字までは全角、6文字以上は半角で表記する。

I II III ... ■ 1 2 3 ... ■■ (1) (2) (3) ... ■■■ ① ② ③ ... ■■■■ ア イ ウ ... ■■■■■ .
[関連して] ・算用数字を横書きする際は、一桁の場合は全角で表記。 二桁以上は半角で、三桁ごとに「, (カンマ)」を入れる。 (例：1、 9、 10、 999、 1,000、 1,234,567,890)

W S P G C
i D T I O
| G A G V
F s A G I
i s スク D
ール 19
構 想

Classroom
Chromebook
Society5.0
LINE(大文字+全角横書き)
Zoomは、オンライン会
議と表記する。